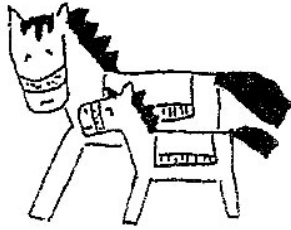


お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぼっくりぼっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



令和3年 9月 No.322

〒760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松第二保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<https://oumanooyako.com>



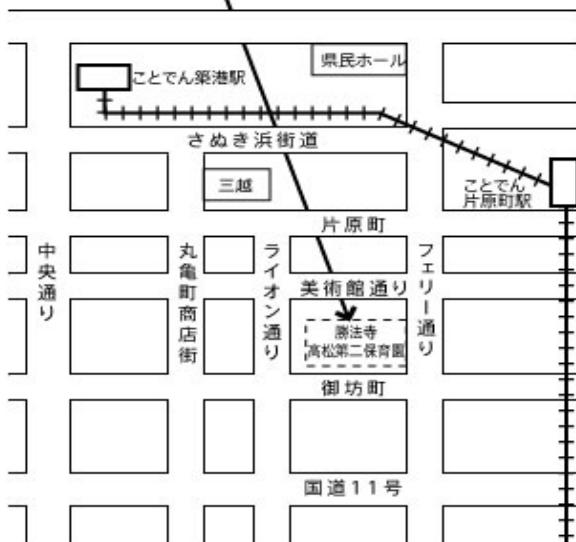
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		9月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
9月 16日	木	こうさぎおはなし会 15:30～16:30	低年齢のお子さまにも楽しんでもらえるおはなし会です。どなたでもどうぞ。
9月 17日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	青井恵子氏（高松市養育支援相談員）に「自己肯定感を育てるかかわり」について話していただき、フリートークします。
9月 17日 24日	金	うたうたい「カラヴィンカ」 19:00～20:30	「ウィーアーザワールド」の日本語版を練習しようと計画しています。
9月 18日	土	絵本と小物づくり 14:00～16:00	お子様がよろこぶ画用紙シアターの「いないバー！」をつくります。
9月 18日 25日	土	体験保育 10:00～12:00	暑い日や雨天でも室内で運動あそびができます。一緒にあそびましょう。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放していますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
地域子育て支援センター



私も、どこぞの手品師の、
お掌のなからうまれたか。
白いお鳩（はと）は手品師の、
お掌（てて）のなからうまれたた。
海からうまれる雲の峰（みよ）、
山からうまれるお日いさま、
卵からうまれる木のこども。
種からうまれる鶏さん、
瓜からうまれる瓜姫さん、
桃からうまれる桃太郎さん、

手品師の掌（てのひら）



金子みすゞ童話全集②
「美しい町・下」より

☆今月の内容 — 「生きる力 育むヒントは」 「孫育てセミナー」へのご案内
「ファミリーデー導入、行事参加は希望制に」

生きる力 育むヒントは

山梨県内の保育園、小中学校の子どもたちを記録した映画が上映、制作されている。舞台となっているのは、甲州市塩山上井尻の みいづ保育園と南アルプス市徳永の「南アルプス子どもの村小中」。命を育む「食」と子どもを主役にした「教育」を問い、オオタヴィン監督（本名・太田敏）＝東京都＝が企画、撮影、編集などを手掛けた。コロナ禍で将来の不確実性が高まる中、二つの現場には子どもの未来を考える「ヒントがある」（オオタ監督）という。現場を取材した。

映画は、みいづ保育園などを取材した「いただきます2 ここは、発酵の学園」と、南アルプス子どもの村小中を取材した「夢みる小学校」の2作。「いただきます2」は昨年1月以降、全国40館で劇場公開され、県内では今年4月に初上映された。「夢みる小学校」は12月に公開予定。

「オーエス、オーエス！」。湿った土と草花の匂いが満ちた畑に、子どもたちの大きな声が響く。みいづ保育園子どもたちの遊び場は、園に隣接した約3反歩の畑や田んぼ。綱引きで歓声を上げる園児の遊びが、田植え間近の田んぼの代かきを兼ねる。

畑には園児が好き好きに野菜も植える。毎朝9時すぎになると、「野菜当番」の園児たちはその日の給食の材料の一部を畑で収穫。野草を取り入れた給食もあり、残った給食はニワトリの餌にしている。「自然の懐に抱かれて土をいじり、野菜を植え、育った食物を食べる。こうした循環を幼い頃から体験してほしい」。園長の日原瑞枝さんは話す。

映画では、発酵食品をふんだんに食事に取り入れるなど日本の“先人の知恵”に着目。コロナ禍で「除菌して菌を消滅させることが求められているが、人間は細菌や菌類など微生物と共生して免疫システムを作ってきた」（オオタ監督）。みいづ保育園の保育に「微生物との共生」も見いだした。

土まみれ、自然の中で自由に育つ幼児教育の次のステップである義務教育はどうあるべきか。そうした監督の問題意識から19年度に密着したのが「南アルプス子どもの村小中」だ。

同小には国語や算数といった教科の授業がない。宿題もテストもない。「プロジェクト」ごとに縦割りグループを編成し、パン作りや焼き物、演劇のほか、古民家改装などに取り組んでいる。

必要な知識は「基礎学習」の時間に身につける。羊を育て、よった糸で作

品をつくるプロジェクトでは、藍染めをするために水と染料の割合計算を学び、「羊」や「糸」の入った漢字覚えていく。“衣”に関わる課題として、海外の児童労働にも目を向ける。大人は「先生」と呼ばず、相談に乗り、一緒に学びを深めていく存在だ。

「学校は子どもたちにとって、ただ楽しいものであってほしい」と同中校長の加藤博さん。特殊な教育課程にも見えるが、「変化の激しい社会に必要な生きる力を育む」ことを掲げる、新学習指導要領と目指すものは変わらない。

子どもが自己肯定感を持ち、生活の中でみつけた問いに向き合う知性を育むには、「大人が学校の在り方を問い続け、自由に学ぼうとする子どもを信じられるか」（加藤さん）が鍵になるという。

昨年度、学習指導要領の改定や一斉休校で揺れた教育現場。オオタ監督には「映画を見てもらうことで現状を少しでも変えたいという思いがある」。県内の保育・教育現場からそのヒントを発信したいと考えている。

ファミリーデー導入、行事参加希望制 母・父の日 様変わり

ひとり親家庭の増加を踏まえ、鹿児島県内の幼稚園や保育園で「母の日」「父の日」の行事が様変わりしつつある。以前はそれぞれの似顔絵を描くのが主流だったが、家族を限定しない「ファミリーデー」を新設したり行事参加を希望制にしたりと、柔軟な取り組みが広がっている。

霧島市のみつぎ童夢園は、5年前から「ファミリーデー」を取り入れた。親に限らず、祖父母など家族全員に向けて、園児がメッセージカードやストラップを制作する。

園に通う古別府楓ちゃん(5)は今年、両親に向け「いつもありがとう」と手書きしたカードを制作。4日夜に自宅へ持ち帰り、両親に渡した。「上手に書けて楽しかった。(親が)喜んでくれてまた書きたいと思った」と声を弾ませる。

もともと母の日や父の日に合わせ、園児が両親の似顔絵を描いていた同園。家族の形が多様化しつつあることを踏まえ、職員で協議しイベントを“衣替え”した。

在籍する園児 125 人のうち約 1 割がひとり親家庭だ。藤崎毅園長(60)は「社会状況が変われば保育のニーズも変わる。園は家庭環境に沿った配慮をしなければならない」と話す。

鹿児島市の認定こども園錦ヶ丘は、母の日や父の日に園児全員で取り組んでいたプレゼント制作を、3年前から希望者のみ参加するイベントに変えた。園児の自主性を重視する教育方針へ転換したのが理由。

変更直後は、保護者から「行事がなくなってしまうのは寂しい」という意見もあったという。主任保育教諭の迫田昌子さん(28)は、「将来、同性同士の親を持つ園児が増える社会になるかもしれない。家族の多様化を踏まえ、大人主導のイベントではなく、園児自身が自主性を育むきっかけになれば」と期待する。

同市の紫原幼稚園は、母の日や父の日に絵を描くイベントこそ残しているが、数年前から題材を拡大。園児は親に限らず、好きな人やものを描くようにしている。昨年、外部から「父の日に合わせ園児に似顔絵を描いてもらえないか」と依頼された際は、母子家庭の保護者にも意見を聞いて行った。

運営母体である学校法人不二学園の富田隆文理事長(60)は「園として多用途に配慮をしつつ、母の日や父の日のイベントで家族への感謝について考えてほしい」と語る。

2015年の国勢調査によると、鹿児島県内の母子・父子世帯は1万5387世帯で、県内一般世帯の2.1%にあたる。1995年時と比べ、父子世帯数は増加していないが母子世帯は3361世帯増えた。

鹿児島女子短大児童教育学科の平本譲准教授(55)＝子ども家庭福祉学＝は「昨今のコロナ禍で、人のつながりは希薄になりがち。多様化する家族の形へ配慮しつつ、改めて家族のつながりを見つめ直すイベントにすべきだ」と指摘する。

切り抜き速報「保育と幼児教育版」2021年6月



◎孫育てセミナー 「気になる 孫のクセ・言動・ゲームなど」 参加無料

日 時 2021年9月26日(日) 13:00~14:30

場 所 高松市生涯学習センター 実習室

講 師 一般社団法人 倫理研究所 生涯局講師 浅井寿子

連絡先 080-3923-1867 (浮田)